



## 第91巻 第3号 史学·地理学·考古学

論説				
叡山文庫所蔵の『事林広記』写本について宮		紀	子	(1)
ペルシア語文化圏における十二支の年始変容について…諫	早	庸		(42)
ティムール朝十二支考				
日清戦争後における経済構想中	兀	崇	智	(74)
金子堅太郎の「工業立国構想」と外資輸入論の展開				
研究ノート	John		rel.	(105)
「簒奪皇帝」の栄光と失敗	林		功	(105)
一九世紀以前の那覇を描いた俯瞰的絵図の基礎研究堀	JII	彰	子	(121)
———年代· 構図· 系譜——			•	
書評				
南川高志編著『知と学びのヨーロッパ史				
人文学・人文主義の歴史的展開』伊	藤	順	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$	(143)
浅野豊美編『南洋群島と帝国・国際秩序』富	永		望	(150)
紹介				
エドガール・フォール著 (渡辺恭彦訳)『チュルゴーの失脚	hert.	-Gil	مواب	(150)
七七六年五月一二日のドラマ <b>』</b> 谷	田	利	文	(156)
計 報				
本会元理事長 佐藤長先生を偲ぶ				

## 史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

## 会 贈 詓

(二〇〇七年三月一四日~ 二〇〇八年二月八日

鹿児島大学法文学部紀要(鹿児島大学法文

考古学報(中国社会科学考古学研究所)二 学部)人文学科論集六六 鹿児島大学法文学部紀要(鹿児島大学法文

学部)人文学科論集六五

史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内)) 第一一七編第一号

00七-四

経済科学(名古屋大学大学院経済学研究 南方文化(天理南方文化研究会)三四 科) 五五-三

奈良史学(奈良大学史学会)二五 信濃(信濃史学会)第六〇巻第二号

日本史研究(日本史研究会)五四六

日本学研究(金沢工業大学日本学研究所 日本歴史(日本歴史学編集)七一八

日本学刊 JAPANESE STUDIES(中国 史迹と美術(史迹美術同攷会)七八二号 寧楽史苑(奈良女子大学史学会)五三

> 二00八. 社会科学院日本研究所中華日本学会)

> > ○研究動向

〇研究ノート 四〇〇字詰五〇枚以内

○史料紹介

四〇〇字詰八〇枚以内 四〇〇字詰八〇枚以内

〇書評 四〇〇字詰二〇枚以内

人文地理(人文地理学会)五九-六

青森県史だより(青森県文化観光部文化振 興課県史編さんグループ) 一六

帝京史学(帝京大学文学部史学科)二三 一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委

斯道文庫論集(斯道文庫) 四二 員会)第三二巻第四号(通巻一五八号)

専修大学大学院社会知性開発研究センター

専修大学大学院社会知性開発研究センター 性開発研究センター)五 /歴史学研究セ(専修大学大学院社会知

と日本・アジアの近代化 性開発研究センター) 五 フランス革命 /歴史学研究セ(専修大学大学院社会知

すること。

「史林」投稿規定(二〇〇八年四月改定)

国家學會雜誌(国家学会事務所)一二一-

◇投稿受付原稿の種類、長さ ◇資格 ○論説 本会会員であること。 四〇〇字詰八〇枚以内

立命館法學(立命館大学法学会)第三一五

◇論説には「要約」(四○○字以内)と 〇紹介 四〇〇字詰三枚程度 〇論文評 四〇〇字詰二〇枚以内

◇研究動向・史料紹介・書評・論文評には、 約」を添付のこと。 「欧文要約」、研究ノートには「欧文要

「欧文タイトル」のみ添付のこと。

◇査読用に複本(原本からコピーしたも ◇注は各章末に入れること。

の)一部を添付すること。

◇電子データがある場合は、下記「補足」 の〈電子データ添付要領〉に従って添付

◇図表が必要な場合は、下記「補足」の 〈図版作成要領〉に従って作成、添付す

ること

送り先:史林編集委員会 注意:特殊な図表を掲載したり、特殊活字 を用いたりする場合には、その印刷経費 の一部を負担していただくことがあります。

(615)

〒六0六-人至01 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科内

## 「史林」投稿規定「補足」

## (電子データ添付要領)

出すること。 D—R·CD—RW·MOのいずれかで提 ・電子データは、フロッピーディスク・C

عرح ・OS(Windows, Mac 等)を明示する

たファイルには対応できない。 郎、Nisus Writer等)特有の形式で保存し すること。ワープロソフト(Word, 一太 ・テキスト形式で保存したファイルを提出

ィスクに保存すること。 換し、DOSフォーマットのフロッピーデ こと。データはDOSのテキスト形式に変 ・ワープロ専用機の場合、機種を明記する

## (図版作成要領)

製図用ペンを使用することが望ましい。 製図し、希望縮尺率を明記すること。 ・仕上寸法の二倍(面積なら四倍)程度で と。その際、線の太さを一定に保つため ト紙などに、製図用インキで明瞭に描くこ ・図はトレーシングペーパーや製図用ケン

> 投稿者負担となることがある。 印刷することを希望する場合は、割付・仕 上等は編集委員会で調整する。その経費は を明記すること。なお、巻頭にアート紙で の一~二倍の原版が望ましく、希望縮小率 ラストが明瞭なものを選ぶこと。仕上寸法 は、仕上段階の鮮明度を配慮すること。 グやワープロ文字を原図に貼り付ける場合 入れること。また、インスタントレタリン ペーパーを重ね該当箇所に文字のみを書き ので、鉛筆書きするか、上にトレーシング 写真図版は原版が十分に鮮明で、コント 図中の文字は写真植字を用いて印刷する

整えること。 は、その旨を明記し、図版に準じた体裁を 工夫すること。原表の掲載を希望する場合 ・表は仕上を配慮して、文字数や表現法を

ے ع ます(経費は投稿者負担となります)。 に修正を依頼するか、編集委員会が修正し 注意:図表に不備がある場合は、投稿者

・本文原稿中に図表の割付箇所を注記する

## 編 後 記

アジア史・現代史・地理学の諸分野にわた す。ぜひ全編御味読下さい。 にも楽しんでいただける諸論考だと思いま を掲載することができました。他専攻の方 広い内容の論説・研究ノート・書評・紹介 史・社会史・文化史・図像に至るまで、幅 内容も重要史料の発見から、政治史・経済 り、時間的にも空間的にも幅広く、また、 本号は、日本史・東洋史・西洋史・西南

# ◆史学研究会ホームページ・アドレス

http://wwwsoc.nii.ac.jp/shr/index.htm

|〇〇八年 五 月三||日発行||〇〇八年 五 月二五日印刷 京都市左京区吉田本町京都大学文学部内 第九一卷第二号(通卷第四六九号) 定価一二〇〇円

FAX(〇七五)七五三-二七八七電話(〇七五)七五三-二七八七

振替京都〇一〇七〇-11-五一五五番史 学 研 究 会

発行人

中 印 印刷株式会社京都市南区上島羽藻田二九

印刷所

162 (616)

## THE SHIRIN

or the

## JOURNAL OF HISTORY

Vol. XCI No. 3

May 2008

### CONTENTS

Articles:	
MIYA Noriko, On the Manuscript of the Shilinguangji in Eizan Bunko	
Collection	(1)
ISAHAYA Yoichi, The Modification of the Twelve-animal Cycle in the	
Cultural Sphere of Literary Persian: A Consideration of the	
Twelve-animal Cycle of the Timurid Period	(42)
NAKAMOTO Takatoshi, The Modification in the Cultural Sphere of	
Economic Concepts after the Sino-Japanese War: Kaneko Kentaro's	
Kogyo rikkoku koso and the Development of the Theory of Introduction	
of Foreign Capital	(74)
Notes:	
KOBAYASHI Isao, The Political Management of Byzantine Emperor Basil I (867-886)	(105)
HORIKAWA Akiko, A Bibliographical Study of Bird's-eye-view Pictures of	
Naha prior to the Nineteenth Century: Chronology, Composition and	
	(121)
Book Reviews:	
MINAMIKAWA Takashi (ed.), The History of the Humanities in Europe	
	(143)
ASANO Toyomi(ed.), The South Sea Islands and Empire, International	
Order (TOMINAGA Nozomu)	(150)
Miscellaneous:	

## Published

by

## THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan